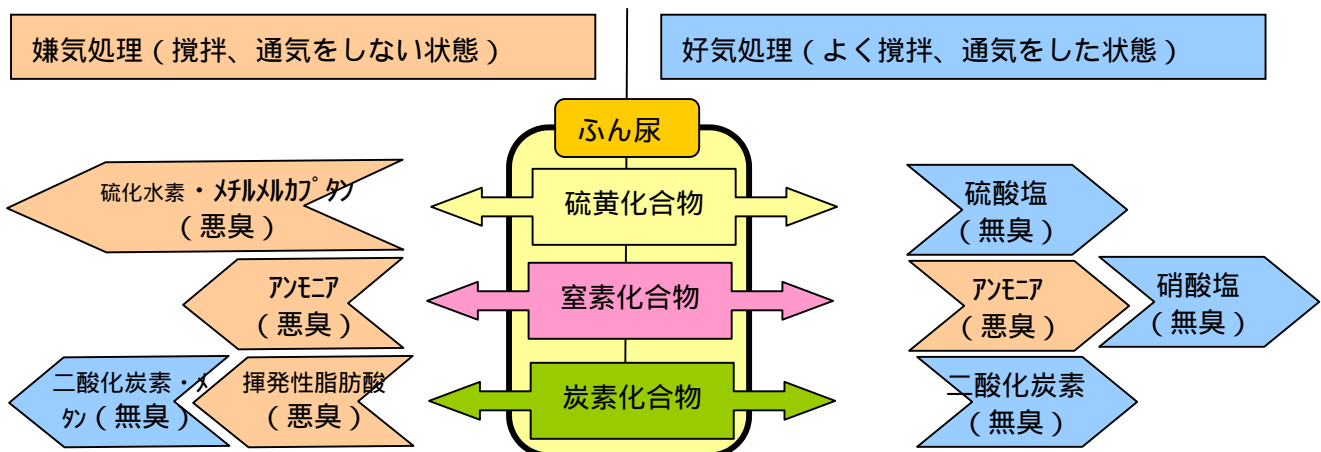


参考 堆肥化の基礎

1 堆肥化の基本6条件とその目安

条 件	目 安
栄養分は十分あるか	・ふん尿中には十分、栄養分があります。
水分は適当か	・通気性を確保するために、水分を60～70%程度に調整します。 ・容積重を0.5kg/L程度にするのが目安です。(5Lのバケツに水分調整後のふん尿を入れ、その重量が2.5kgになる程度。注：バケツの重さは除く)
空気は十分に送られているか	・通気が良くなるよう、ふんわりと堆積します。 ・攪拌または時々切り返しをします。 ・ブロー-により通気する場合は、50～300L/分・m ³ が目安です。
微生物はたくさんいるか	・ふん尿中にはたくさんの微生物がいます。
温度は上昇しているか	・60 以上で数日間が目安です。
時間をかけているか	・家畜ふん尿のみの場合は2ヶ月、稲ワ-・モミガラなどの植物残さを混合した場合は3ヶ月、カゴ・パ-クなどの木質資材を混合した場合は6ヶ月が目安です。

2 ふん尿の嫌気処理と好気処理の違いによる悪臭の発生状況



悪臭の発生を抑えるには、攪拌や通気を行いふん尿に空気を十分供給し、好気発酵させることが大切です。

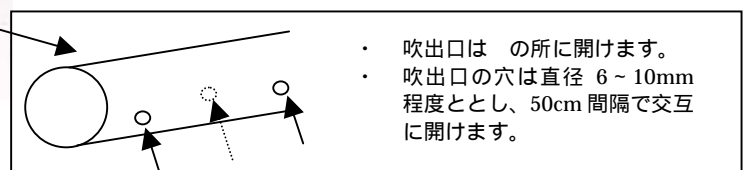
3 通気の仕方

ブロー-による通気



Bはブロー-を示します。

- ・ 堆肥舎の床面からブロー-により通気することにより発酵促進が期待できます。無通気と比べ約30%程度堆肥化が早く進みますので、堆肥化施設は小さくて済みます。
- ・ なお、通気は原則として24時間連続して行います。



今回ご紹介した施設等は、基本的な構造やヒントの提案なので、皆さんの利用方法にあわせて工夫をしてください。

また、低コストな処理方法等の提案もお寄せ下さい。